



エパール-F やまなみ

大波スレートカバー工法

今のスレート屋根をそのままに……
簡単リフォーム工法があります。

 **NIPPON STEEL** | **日鉄鋼板株式会社**

検索は <https://www.niscs.nipponsteel.com/>



本社・鋼板営業第一部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 日本橋本町二丁目ビル TEL 03-6848-3730 FAX 03-6848-3757
 東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町三丁目6番1号 一番町平和ビル10F TEL 022-264-9861 FAX 022-264-9866
 名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南二丁目13番18号 NSビル6F TEL 052-564-7258 FAX 052-564-4759
 大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友ビル7F TEL 06-6228-8330 FAX 06-6228-8506
 九州支店 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5番18号 博多NSビル4F TEL 092-281-0051 FAX 092-281-0230
 北陸営業所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1番18号 北日本桜橋ビル4F TEL 076-432-9898 FAX 076-442-2924

●お問い合わせは……

※本資料に記載された技術情報は、弊社で実施した試験データ等の一例であり、その結果を保証するものではありません。
 また、製品仕様等は、予告なく変更されることがあります。最新の情報については、弊社各担当部署にお問い合わせください。
 ※本資料に掲載された製品または役務の名称は、弊社の商標または登録商標です。
 ※本資料に記載された内容の無断転載や複写は、ご遠慮ください。

【2024年3月版】

©2024 NIPPON STEEL COATED SHEET CORPORATION All Rights Reserved

'24 MAR 60 KS

 **NIPPON STEEL** | **日鉄鋼板株式会社**

エバールフ やまなみ

大波スレートカバー工法

老朽化したスレート屋根を、 簡単な工法で、より美しく。

古くなった工場や倉庫のスレート屋根は、今も大丈夫ですか？

劣化による雨漏りや、アスベストの飛散等の不安は解消されていますか？

日鉄鋼板の『エバールフやまなみ』は、そうした問題を一挙に解決。

現状の大波スレートを撤去しないため廃棄物を出すことがなく、

ごく簡単な工法で、美しい屋根に生まれ変わります。

美観はもちろん、環境保全や周辺住民への配慮といった企業イメージのアップにも役立つ、

リフォームに最適な屋根材として、今、注目を集めています。

工場で、倉庫で…さまざまな場所で、
すでに好評をいただいています。



リフォーム前



リフォーム後

ナミテイ株式会社



リフォーム前



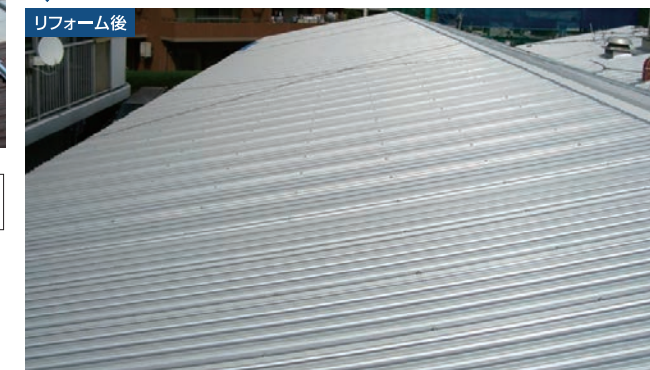
リフォーム後

キンキサイン株式会社

鉄板大波の改修



リフォーム前



リフォーム後

株式会社西井水産

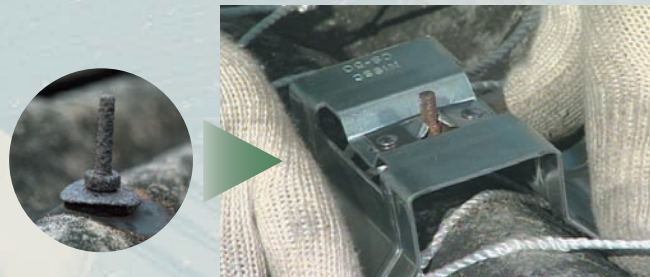
注目されています！
エバールーフやまなみ
間接固定工法

注目
1
簡単！

下地となるサドルを、
既存ボルトにワンタッチで取り付け。
作業が簡単、スピーディー！

サドル工法

「エバールーフやまなみ」の間接固定工法なら、現状のスレート屋根に使われている既存のフックボルトに、下地となるサドルをワンタッチで取り付け。ハンマー等の工具や機械を使う必要が無く、リフォーム工事の工程も大幅に短縮することができます。



**古くなくても、強さはそのまま。
数々の実験に裏付けられた
既存ボルトの強度。**

フックボルトは数十年経過して表面が錆び付いたものでも、一定の強度を保持。公的機関における疲労試験（30年相当）や、当社の引張試験でも300kgf/本以上を確認しており、台風時の強風や長期にわたる風の影響にも十分に対応できる、高い耐久性を保持しています。



サドル工法が適用できない場合

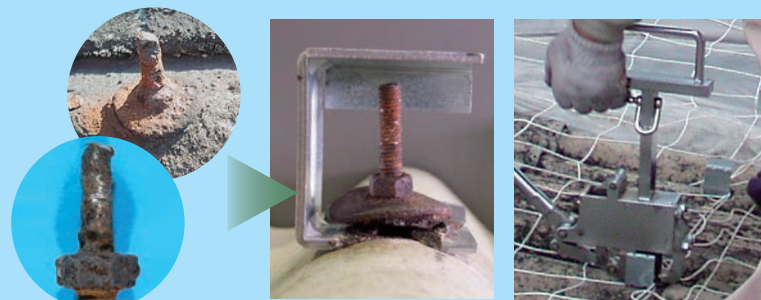
スライドイン工法

安心！

下地となる金具を、既存ボルトの締結ナット（座金）とスレート間に挿入。極端に腐食したボルトに対しても安心して使用できます。

クリーン

専用工具を使用することで、金具挿入時の落下物の低減、スレートの破損・騒音の防止ができます。



注目
2
クリーン！

既存の大波スレートを撤去しないから、
工事中も作業が可能。

間接固定工法は、既存の大波スレートを傷つけることなくカバーできる工法です。穴をあけることもなく、リフォームできます。社会問題になっている産業廃棄物を出すことがなく、アスベストなどの飛散の問題にも対応できます。また、屋根を撤去しないので、リフォーム工事の間も、そのまま作業することができます。

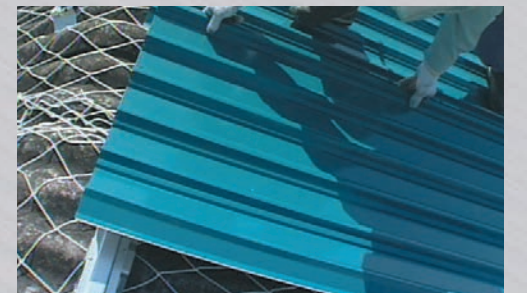


屋根の工事中も作業が可能です。

注目
3
**コスト
ダウン**

リフォームするだけで
断熱性が向上。
空調にかかるコストが削減できます。

間接固定工法では、現在の屋根とエバールーフやまなみの間に空気層ができるため、建物自体の断熱性が向上。さらに、断熱材を敷き込むことで断熱効果をアップさせることが可能なので、これまで冷暖房にかかっていたランニングコストが大幅に削減できます。

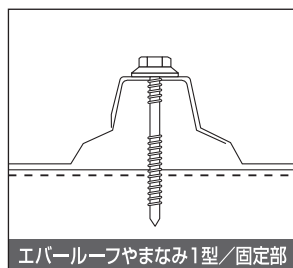


工期や予算に合わせて、さまざまなバリエーションから、最適な工法が選べます。

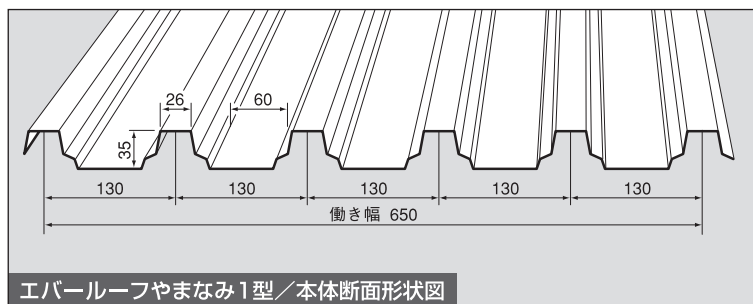
品 種

エパールフ
やまなみ1型

カバールーフの定番。
エスジーエル鋼板を
原板とした、
信頼の屋根材です。



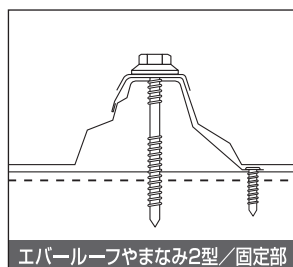
エパールフやまなみ1型/固定部



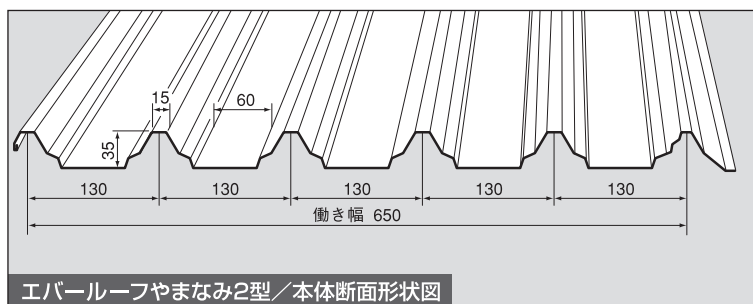
エパールフやまなみ1型/本体断面形状図

エパールフ
やまなみ2型

1型の固定部に
改良を加えたタイプ。
葺替えにも対応しやすい、
安心の屋根材です。



エパールフやまなみ2型/固定部



エパールフやまなみ2型/本体断面形状図

工 法

● 間接固定工法

特 長

- 既存大波スレートを撤去しない。
- 既存大波スレートをキズつけない。
- アスベストを含む粉塵を極限まで低減。
- 工事中でも営業・操業が可能。
- 既存フックボルトの切断不要。
- 既存フックボルトを利用した工法。
- 断熱性が向上。

留 意 点

- 多雪地域には使用できません。
- スライドイン工法は専用工具を用いての施工となります。

※間接固定工法については2種類の工法をご用意しています。通常の場合はサドル工法をご使用ください。但し、塩害等の影響でフックボルトの屋根上の軸が著しく減耗しサドルを取り付けることができない場合はスライドイン工法をご使用ください。

通常の場合

～ サドル工法 ～

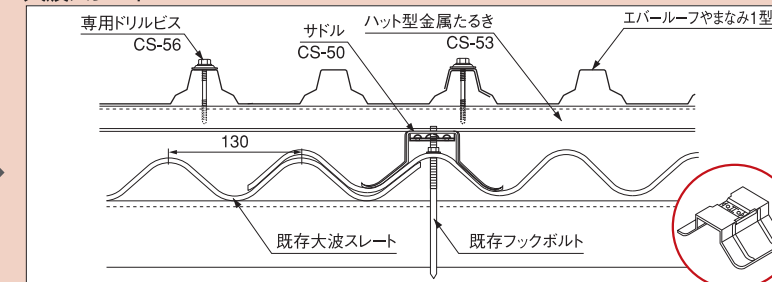
特 長

- 既存フックボルト間隔がばらついた屋根面でも施工可能。
- 凸凹のある屋根面の影響を受けない。
- サドル工法では雪止め金具の設置が可能です。ご相談ください。

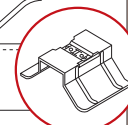
用 途

- 食品・精密関連などの工場・倉庫。
- 大規模・中層建物に最適。

大波スレート

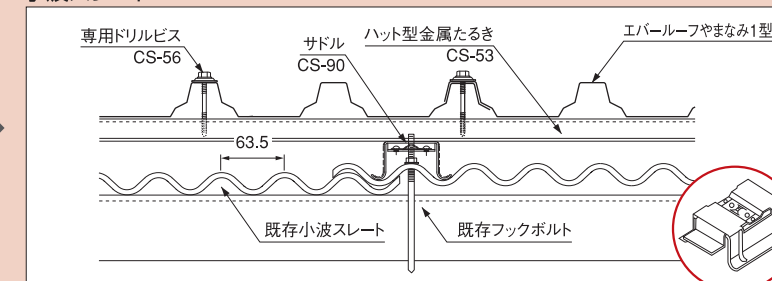


※図はエパールフやまなみ1型で表現しています。

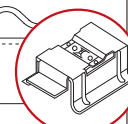


サドル工法
大波用金具

小波スレート



※図はエパールフやまなみ1型で表現しています。



サドル工法
小波用金具

サドルが取り付けられない場合

～ スライドイン工法～

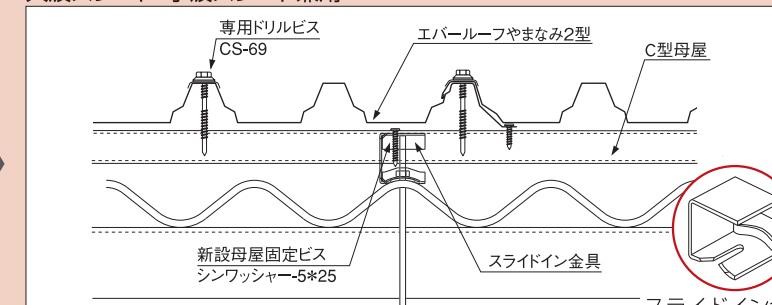
特 長

- フックボルトの劣化状況に左右されない。

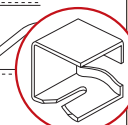
用 途

- 食品・精密関連などの工場・倉庫。
- 中・小規模建物に最適。

大波スレート・小波スレート兼用



※図はエパールフやまなみ2型で表現しています。



スライドイン金具

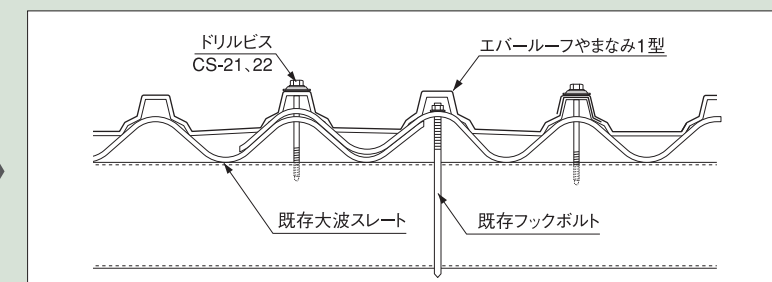
● 直接固定工法

特 長

- 既存大波スレートを撤去しない。
- 既存大波スレートになじみが良い多面折形状。

留 意 点

- ビス貫通時に発生する粉塵対策として、室内立入禁止・アスベスト安全対策・室内清掃が必要です。



※図はエパールフやまなみ1型で表現しています。

● 葺 替 え

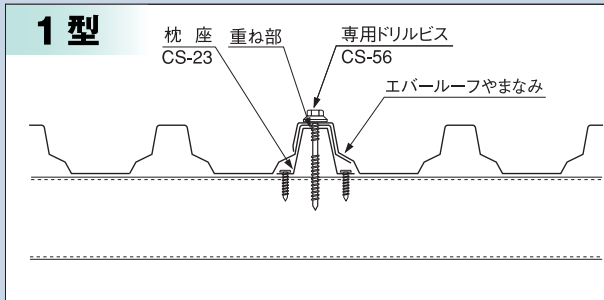
特 長

- 屋根が軽量になり、耐震性に有利。

留 意 点

- 既存大波スレートの解体・撤去・廃棄処分は、法規制に従い適切な対応が必要です。
- 建物用途に合わせ、重ね部の水密性について適切な対策をご検討下さい。

1 型



2 型

